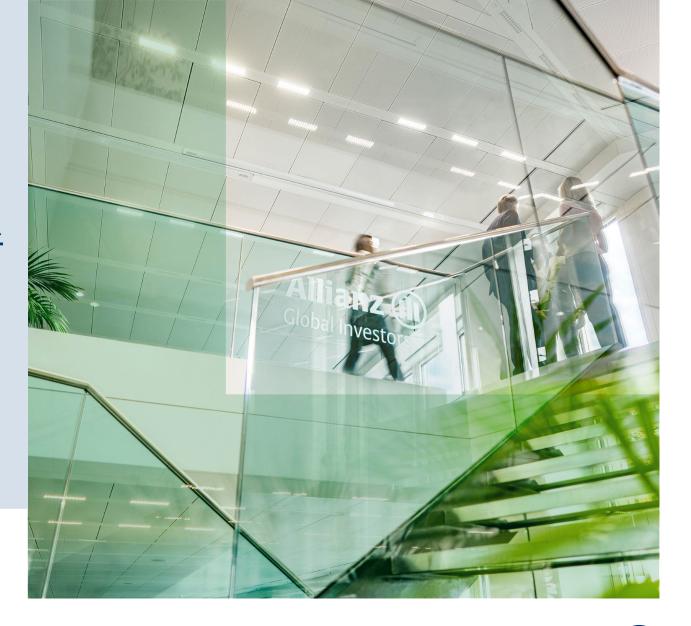
# 2021年4月

# 今後の債券市場と リスクラボによる ポートフォリオ分析

risklab Allianz Global Investors

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン 株式会社 金融ソリューション部長 神頭 大治 daiji.kanto@allianzgi.com







- 01 今後の債券市場の見通し
- 02 リスクラボのご紹介
- 03 企業年金基金および地方銀行のポートフォリオの今後
- 05 ケース・スタディ(1)企業年金基金
- 06 ケース・スタディ(2)地方銀行
- 07 まとめ(多角的視点での分析)



# 01

# 今後の債券市場の見通し



#### The AllianzGI US Recession Monitor

#### アメリカ在住 シニア・エコノミスト

#### グレッグ・マイヤー





グレッグ・マイヤー Greg A. Meier ディレクター、シニア・エコノミスト アリアンツ・グローバル・インベスターズ

#### <略歴>

1999年にアリアンツ・グローバル・インベスターズに入社。米国を中心に、マクロ経済、資本市場、金融政策、財政政策、退職給付制度、人口動態の調査分析を担当する。マイヤー氏は、このほかに発生確率の高い投資アイデアやマーケット動向について運用部門や営業部門として顧客と継続して協議を行っている。また、運用部門等のシニアメンバーにより構成されるグローバル投資委員会のメンバーでもあり、ハウス・ビューについて投票権を持つ。マイヤー氏より継続的に発信されるレポートは、12以上もの言語に翻訳され世界中に配信されている。

マイヤー氏は、20年超の投資業界の経験を有する。アリアンツ・グローバル・インベスターズ入社以前、マイヤー氏は、ラッセル・インベストメント、リジェル・キャピタルにおいて、シニア・インベストメント・ストラテジスト、パフォーマンス分析者、そしてマーケット関連コメントを配信していた。

マイヤー氏は、モンタナ大学経営大学院卒およびワシントン大学卒。趣味は、旅行、アウトドア、自転車部のキャプテン



→ しかし、コロナ前の水準に戻らないものもあり、ボラティリティの高まりに注意が必要である

# The AllianzGI US Recession Monitor アメリカでは、

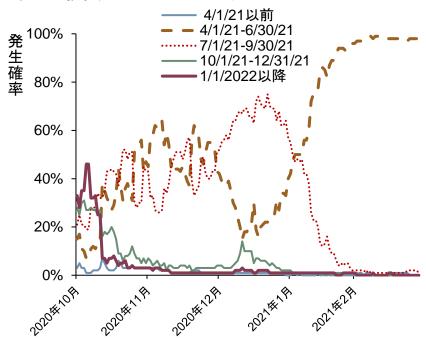
# Allianz (II) Global Investors

#### 3分の2のアメリカ人が7月上旬までにワクチン接種の見込み

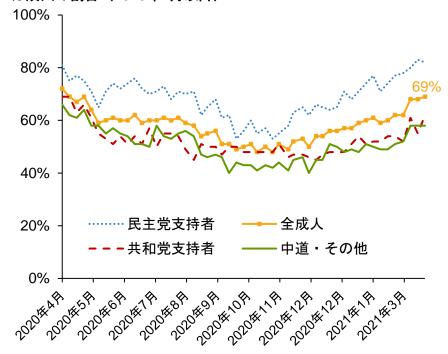
専門家によると98%の確率でおよそ2億人のアメリカ人が ワクチン接種の見込み

ワクチン接種をためらう人の割合は、政府・接種プロセス・ テクノロジーへの信頼度の高まりとともに低下している

#### 2億人の接種完了のタイミング予想



ワクチン接種が可能となり次第、速やかに接種を希望するアメリカ成人の割合(2020年4月以降)





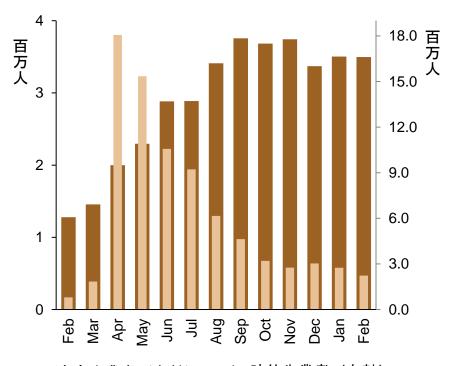
→ 2021年の疑問は、ワクチン接種した人々はイベント参加や旅行のほか、従前のような勤務が可能となるだろうか?



#### 2021年最大の疑問は、急速なワクチン接種が急速な雇用回復に繋がるか?

300万人以上の労働者は完全な失業者となっており、 その多くはコロナ禍に構造的な影響を受けた行政 サービス従事者である

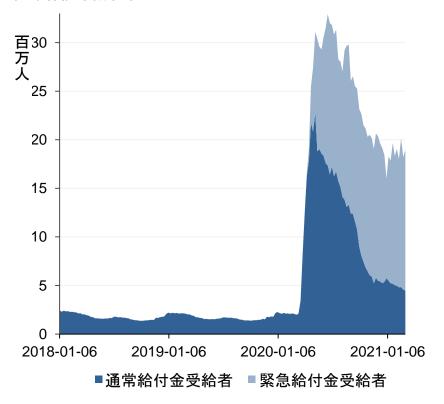
#### 失業者数



■完全失業者(左軸) ■一時的失業者(右軸)

給付金を受給した18百万人のうち75%は緊急給付金 を受給している

#### 失業保険申請者数



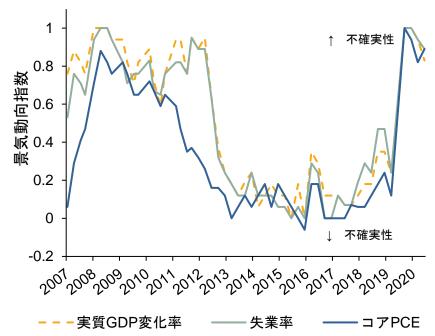
→ 今後、ワクチン接種が加速すると週間失業保険申請者数は大きく減少する可能性が高い→ 目先、月々百万人以上もの雇用を創出する仕事が作られるだろうか?



#### FRBによると、不確実性の高さは継続するもののリスクは改善

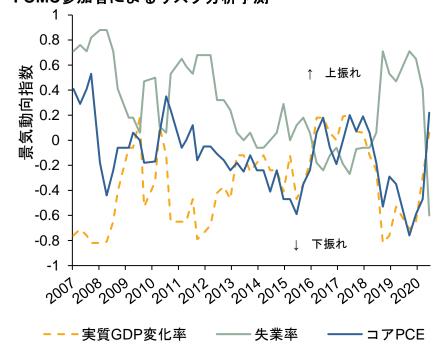
#### FRBの見解では、不確実性は僅かに改善しているが 依然として高水準にある

#### FOMC参加者による不確実性予測



#### 失業リスクは依然として上昇の可能性がある一方、 成長率とインフレ率は低下の可能性がある

#### FOMC参加者によるリスク分析予測



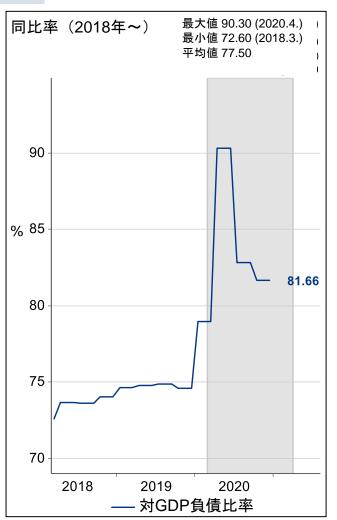


- → 昨年12月にFRBは、リスクと不確実性についての新たなデータとその見解を示した
- → 先月更新された見解では、不確実性の継続を示しつつも、経済成長率、失業率、インフレ率の改善を明らかにした
- → 我々は、依然としてパンデミック下にあるものの、景気回復は事前予想を上回る速度で改善していると考えている



# レバレッジ・流動性確保は落ち着きつつある



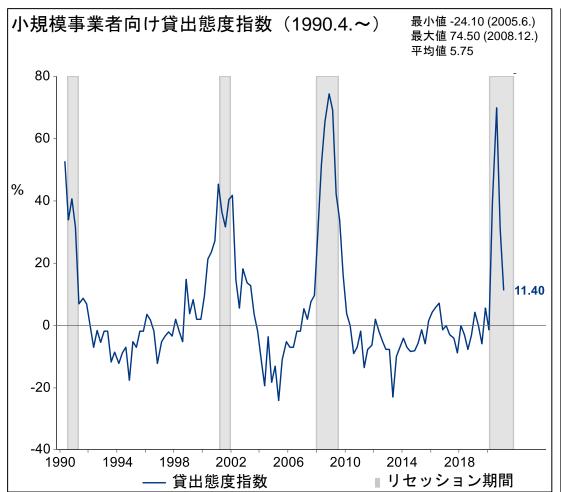


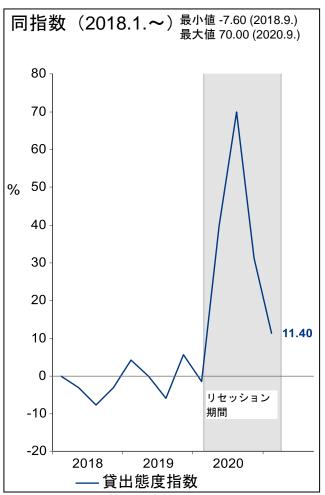
→ 2020年に入ってから企業の負債比率はさらに上昇、コロナ禍でさらに急上昇した。足元ではやや落ち着きを取り戻し つつあるが依然高水準にある

→ 高水準にある負債比率は、今後FRBの正常化プロセスを困難にするだろうか?



## 小規模事業者向け貸出態度も改善してきた



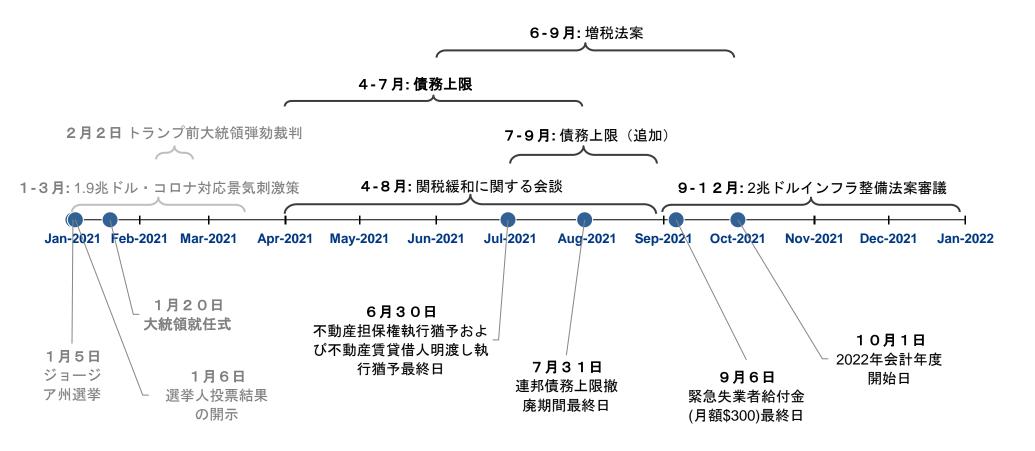


→ 小規模事業者向けの融資担当者による融資姿勢は、コロナ禍において、昨年大きく硬化した後、急速に緩和している → しかし、リセッション時以外の水準と比較すると、依然として厳しい状況にある



## 増税・インフラ整備法案は年内成立見込み

年内に予定されている政治イベントのうち、マーケットにまだ織り込まれていないものがあるかもしれない

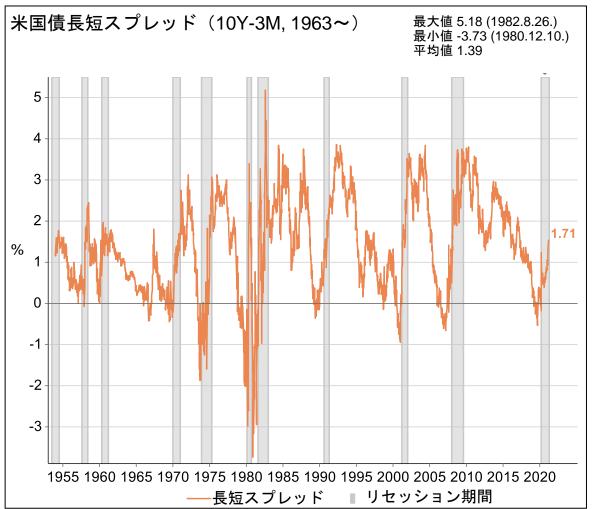


→ 今夏、予算不足および債務上限議論は2兆ドルの増税によって対応

→ バイデン大統領は、10月1日以降に予算案と共に成立するインフラ整備法案(3兆ドル)について間もなく公表するだろう

# Allianz (II) Global Investors

## 米国債長短スプレッドが4年ぶりの水準へ上昇





→ 今回のリセッション直前も、過去と同様に「逆イールドから順イールドへ」というパターンを繰り返した

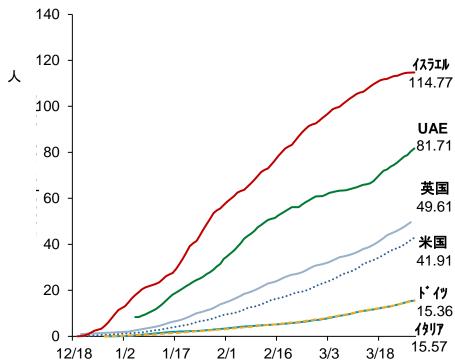
→ 歴史を振り返ると、景気回復局面においてFRBは腰折れリスクを回避すべく短期金利の水準を長く低位に保つ一方、投資家は景気回復による長期金利上昇を早目に織り込みに動く傾向にある

# Allianz (I) Global Investors

# 世界においても 社会の正常化にはワクチン接種の進行が鍵となる

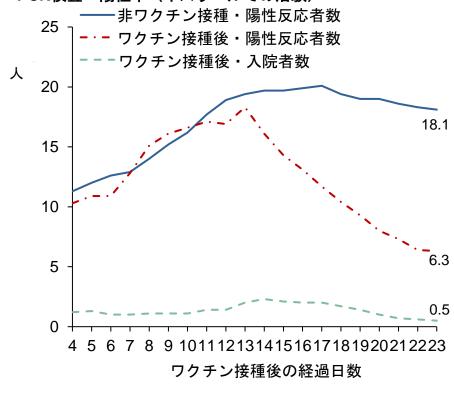
国民のワクチン接種は、イスラエル、UAE、英国、 米国の4か国が先行し、欧州大陸は遅れている

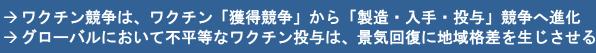
人口100人当たりのワクチン接種のべ人数(2020.12.~)



ワクチン接種が行き渡ったイスラエルでは、 陽性反応者数が明確に減少している

PCR検査・陽性率(イスラエルでの治験)



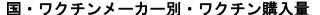


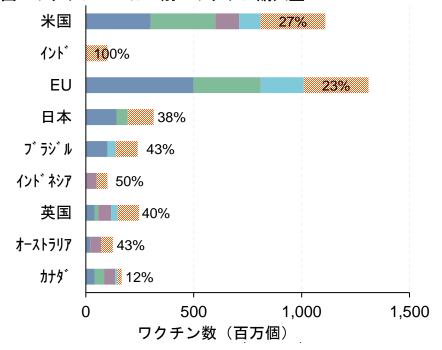


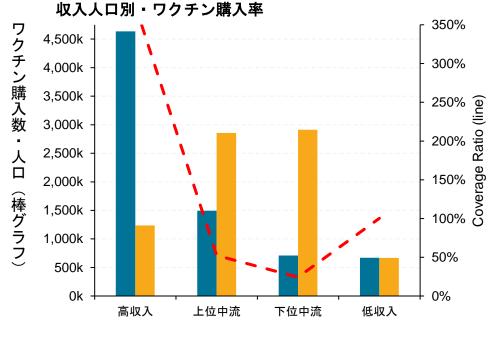
## 裕福な国の国民ほど容易にワクチン接種を受ける

各国政府はワクチン獲得先の分散が求められる。 うち、アストラゼネカ製は多くの国にとって重要な存在

裕福な国によるワクチンの買い溜めは、人口比 300%もの購入となっている







■ファイサー ■モデルナ ■ノハ・ハ・ックス ■ションソン ※アストラセ・ネカ





- →国によっては2022年以降までワクチンが行き渡らない可能性があり、経済活動への逆風と変異株リスクの継続も
- →製造と治験の正確性が疑問視されてきたアストラゼネカ製ワクチンの数は、グローバルに見て重要なポイント



# 2021年の最大の課題は変異株かも知れない

#### より感染力の高い変異株は50か国以上で観測されており、今や主流となりつつある

主な変異株	特徴	
英国型	高い感染力、 より多い重篤化数	
南アフリカ型	高い感染力、 高い再感染率、 限定的ワクチン効果	1
ブラジル型	高い感染力、 高い再感染率?	
	<b>□</b>   デー :	タ
	■ 英国雲	型:
	■ 英国	
	■ 英国	•
	■南ア	Ͳ
	■英国	
	<b>■</b> ヷ゛゙ヺシ゛	

→一般的に、ウイルスとは定期的に変異するものであり、かつ感染力が高まりやすいものである

→ ノババックス社の臨床試験において、原株感染歴を持つ治験者は、南アフリカ変異株の再感染を防ぐ効果がないことを示す結果となってしまった



# 

# リスクラボのご紹介



# リスクラボの概要





# Active is: お客様のパートナーとして 運用目標を達成するために

# risklab

リスクラボはアリアンツGIの投資およびリスク・アドバイザリー部門であり、 テイラーメイドで成果重視のサービスおよびソリューションをお客様に提供することにを目的としています。

- 顧客の戦略的パートナーとして取り組む
- 革新的なソリューションを提供
- 付加価値の高い運用関連サービスを提供



# リスクラボの特徴とサービス・ライン

- 資産配分に関するアドバイザリー
- オルタナティブ投資に関するアドバイザリー
- リスク管理ソリューション
- 4 アセットライフ・ソリューション (リテール向け)

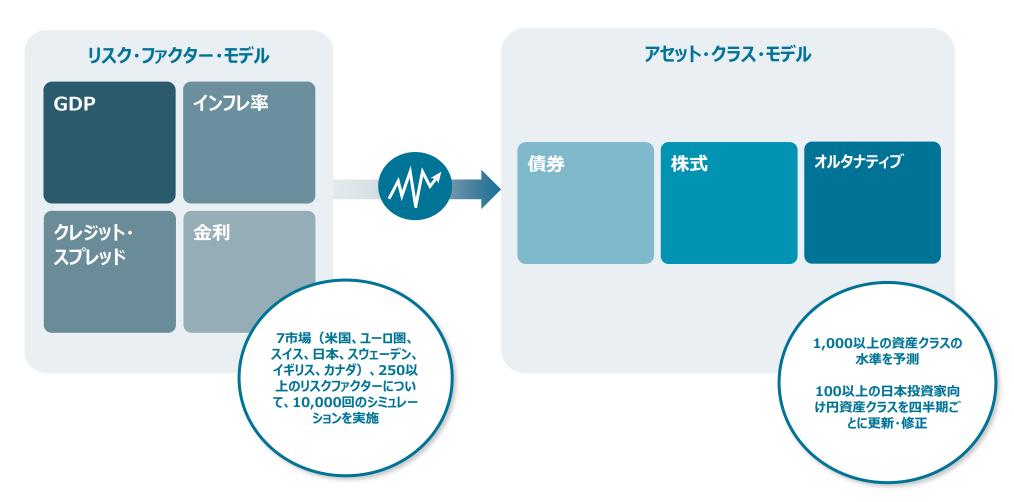
# 60名以上 \$100B以上 のプロフェッショナル(投資アドバイ 15年以上 (= 約11兆円) ザーおよびクオンツ・アナリスト) **Asset under Advisory** (AuA) にわたるアドバイザリー 実績

資料: risklab, 2020年12月末現在



## 予測シミュレーションのプロセス(1)

~ 資本市場モデル (risklab Capital Market Model)



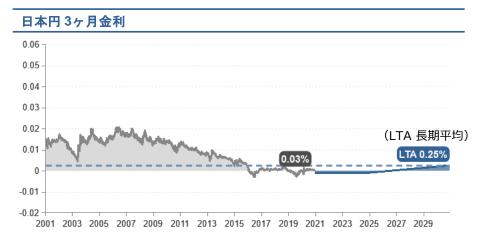
出所: AllianzGI、2020年9月末時点

注:リスクファクターはインフレーション(期間構造)、実質利子率(期間構造)、クレッジトスプッレド(期間構造)、為替レート、株式市場のリスクファクター、アルターナティブ・リスクファクター等

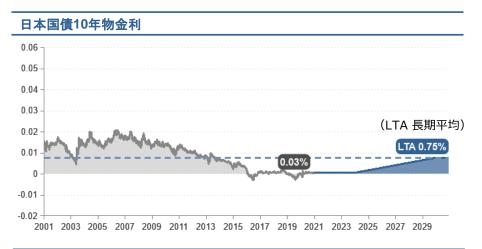


#### 円金利および米国金利の予測値

- □ 現時点では、日米とも10年金利は2024年から、3ヶ月金利は2025年からの上昇すると予測
- □ ただし、特に10年金利については前倒しになる可能性











# 03

# 企業年金基金および地銀の ポートフォリオの今後





# 各資産の「これまで」と「これから」のリターン・リスク特性

□ 各資産のリターン・リスク特性は、「過去15年間の実績値(年率) と、「今後10年間の予測値(年率) において大きく異なる可能性

#### 過去15年のリターン・リスク特性(過去実績値) (円ベース\*, 2005年末 - 2020年末)



#### 今後10年のリターン・リスク特性(アリアンツGI予測) (円ベース\*, 2020年12月末時点)



- \*: すべての債券と一部のオルタナティブ資産クラスは円ヘッジ付き
- \*\*: 非流動性資産の年率リターンと年率ボラティリティは測定期間中のIRRと測定期間中IRRの標準偏差値を指します
- (出所)各資産クラスのデータはBloombergのデータおよびPreqinのデータおよびAllianzGIのデータに基づいてAllianzGIが作成。 過去実績値の測定期間は2005年末から2020年末までの15年間、予測値は2020年12月末時点 今後10年のリターン・リスク特性(予想値)における、プライベート・エクイティおよびデット、トレード・ファイナンスの予測値はアリアンツ・グローバル・インベスターズが提供する運用戦略の予測値
- 注)上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するものでなく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合があります。



## 地方銀行の分析にあたっての前提条件等

■ 地方銀行101行の直近の有価証券報告書より有価証券ポートフォリオに関するデータを収集(主には2020年3月期末時	夕を収集(主には2020年3月期末時点)
--	----------------------

□ 金銭の信託は含まず

□リスクラボの予測値は2020年12月末現在のものを使用

□ 各資産の予測は下記記載の指数等の値を使用

▶ 日本国債 : ICE BofA 日本国債指数

▶ 日本地方債 : ICE BofA 日本国債指数+0.15%

▶ 日本社債 : ICE BofA 日本社債指数

▶ 日本株 : MSCI 日本株式指数

▶ 外国債券 : ICE BofA 米国国債指数 (円へッジあり)

▶ 投資信託 : マルチアセット、米国国債、欧州国債等から構成される複合資産

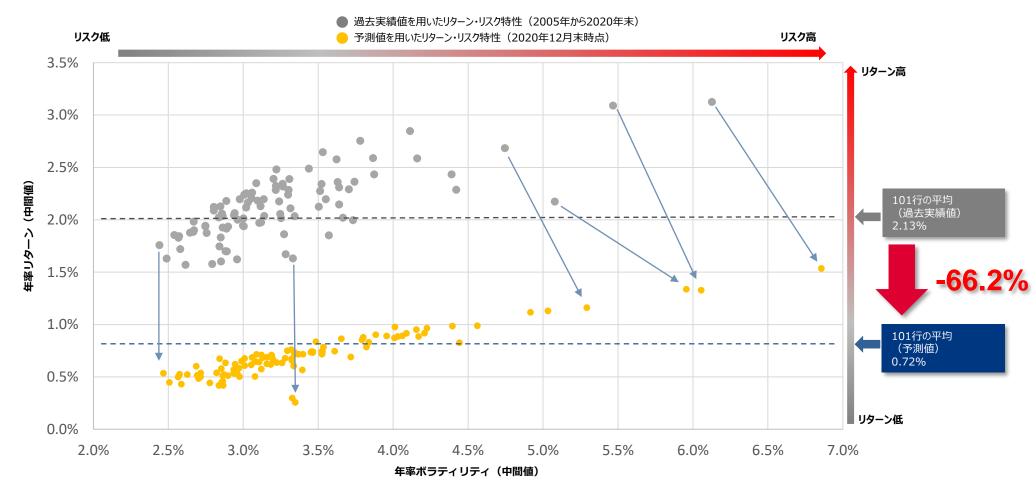
\* 正確性を保証するものではありません。投資信託に含まれる各資産の構成比率はアリアンツGIの判断によるものです。

注)上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するものでなく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合があります。



# 地銀101行のリターン水準の「これまで」と「これから」

- □ 地銀101行の有価証券情報を用いてリターン・リスク特性を分析すると、過去実績と期待値では大きく異なる結果
- □リターン水準は大幅に減少、リスク水準は小幅に増加



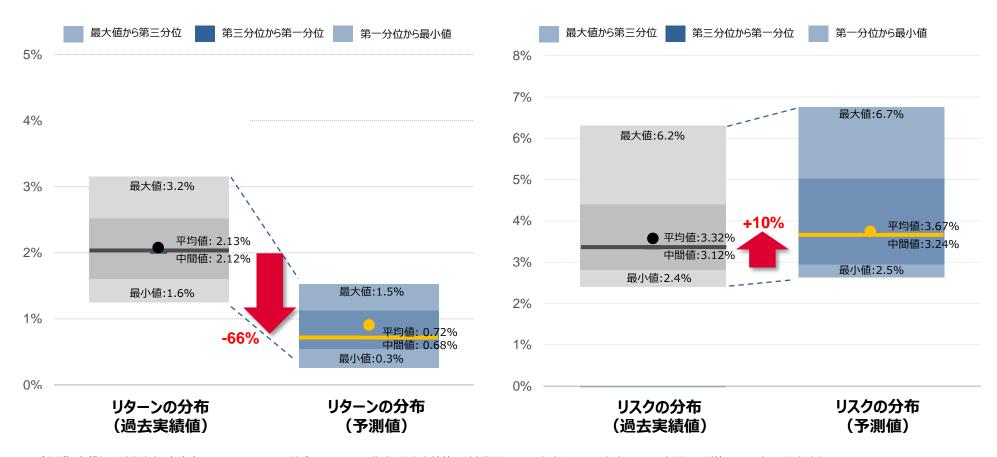
(出所)各銀行の財務諸表、各資産クラスのベンチマークに基づいてAllianzGI作成、過去実績値の測定期間は2005年末から2020年末までの15年間、予測値は2020年9月末時点

注)上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するものでなく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合があります。 23



# 地銀101行のリスク・リターンの「これまで」と「これから」

□ リスクの平均値の上昇は10%に留まるものの、リターン平均値は66%も下落



(出所) 各銀行の財務諸表、各資産クラスのベンチマークに基づいてAllianzGI作成、過去実績値の測定期間は2005年末から2020年末までの15年間、予測値は2020年12月末時点

注)上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するものでなく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合があります。



# 企業年金基金の分析にあたっての前提条件等

□ 大手企業37社の直近の有価証券報告書より退職給付に関するデータを収集(主には2020年3月期末時点)

(収集企業の業種) 輸送用機器、電気機器、精密機器、非鉄金属、化学、医薬品、石油・石炭製品、ゴム製品、その他製品、情報・通信業、 卸売業、小売業、建設業、銀行業、その他金融業

- □ リスクラボの予測値は2020年12月末現在のものを使用
- □ 原則、国内の退職給付に関するデータを収集
- □ 一部、国内と国外の区別なく開示されている企業も含む
- □ 各社の資産配分は下記4資産に分類し、予測は下記記載の指数等の値を使用

▶ 債券: ICE BofA グローバル総合債券指数(円へッジあり)

▶ 株式 : MSCI オール・カントリー株式指数 (円へッジなし)

▶ 現金および預金(一般勘定運用含む) : 過去実績値 1.25%、予測 0.25% (一定値)

➤ その他 : HFRI 総合指数 (円へッジあり)

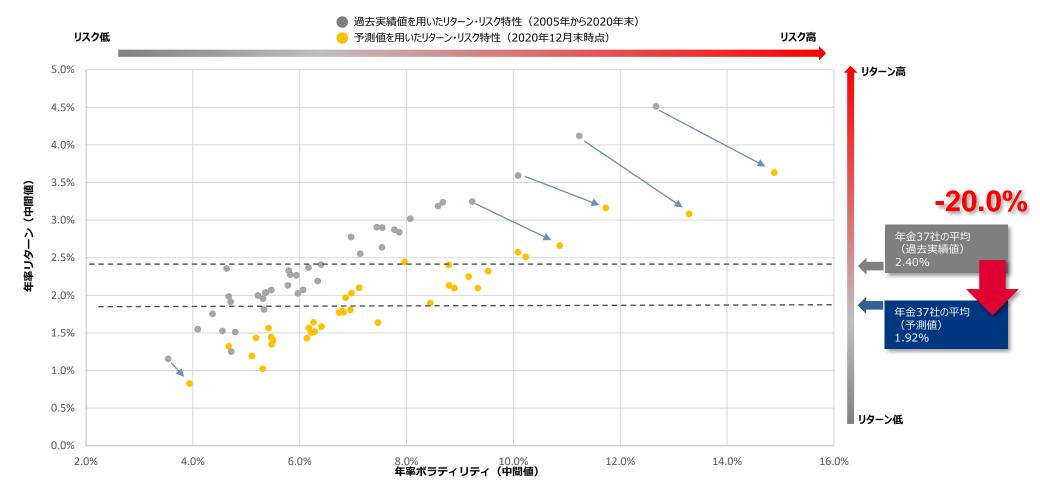
\* 各企業年金の資産の分類等はアリアンツGIの判断に基づくものであり、ベストエフォート・ベースになります。正確性を保証するものではありません。

注)上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するものでなく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合があります。



# 企業年金のリターン・リスク水準の「これまで」と「これから」

- □ 年金37社の資産配分情報を用いてリターン・リスク特性を分析すると、過去実績と期待値では異なる結果
- □リターン水準は減少、リスク水準は増加



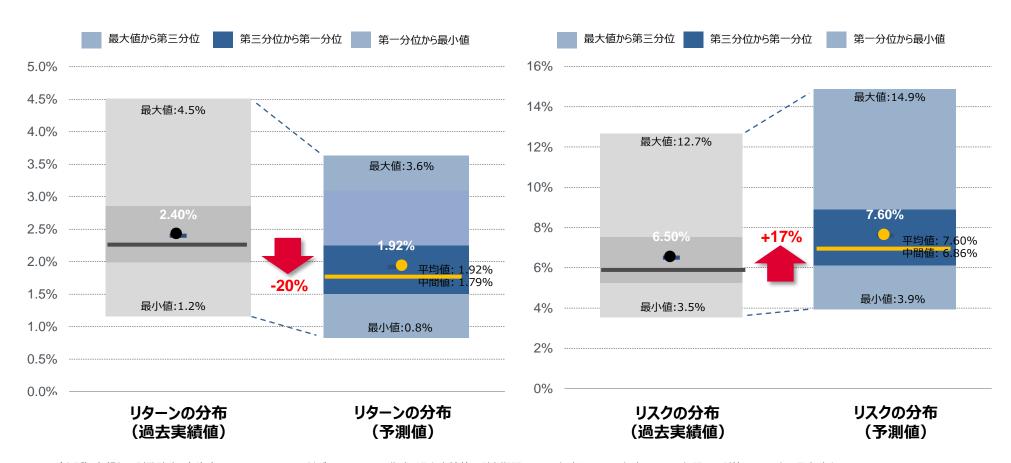
(出所)各年金の財務諸表、各資産クラスのベンチマークに基づいてAllianzGI作成、過去実績値の測定期間は2005年末から2020年末までの15年間、予測値は2020年12月末時点

注)上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するものでなく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合があります。 26



# 企業年金のリスク・リターンの「これまで」と「これから」

□ リターンの平均値は20%減少し、リスクの平均値は17%上昇



(出所) 各銀行の財務諸表、各資産クラスのベンチマークに基づいてAllianzGI作成、過去実績値の測定期間は2003年末から2018年末までの15年間、予測値は2020年9月末時点

注)上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するものでなく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合があります。



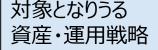
## 運用利回り向上・安定に向けた基本的な考え方

## 運用利回りを向上・安定させるための基本的なソリューション



# 長期債券への 配分比率増加

- 利回りがより高い長期債券への配分比率を増加させることにより、債券運用利回りを向上
- ただし、金利上昇局面においては必ずしも有効ではない可能性





## 信用リスク量の拡大

- 取れる信用リスクを増加させることにより、よりクレジット・スプレッドが厚い債券に投資し、債券運用利回りを向上
- バーゼル規制の今後の株式リスク量増大を加味すると、信用リスク増加による利回り向上は今後の効率的な利回り向上手段の可能性

ハイ・イールド債券など



# 流動性のギブアップ

- 非流動性プレミアムがのった、 すぐには売却できない債券等 への投資による利回り向上
- 5~10年程度解約できないプライベート・アセット (PA) に加えて、売掛金・買掛金などに投資し、**月1回一部解約が可能**なプライベート・アセットなども近年登場

トレード・ファイナンスなど



# 債券との相関が 低い資産への分散

- 危機時における債券と株式が 順相関の様相を示す中、債 券などの資産と低相関にある 資産クラスにも投資し、長期間 にわたっての利回り向上と安定
- 一つの資産での運用ではなく、
   複数資産を組合せ、VIXへの 投資やショート・ポジションを構築する戦略など

債券マルチ/ 債券ロング・ショート



# 

# ケース・スタディ(1)企業年金基金

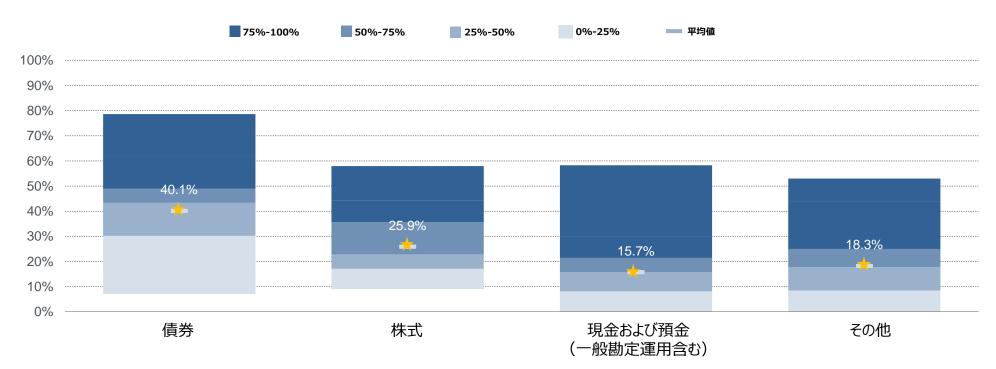




# 企業年金の平均ポートフォリオ

- □ 平均ポートフォリオでは、債券への配分比率が高いものの、4割程度に抑制
- □「その他」は「ヘッジ・ファンド総合指数(円ヘッジあり)」とみなして次頁以降分析

#### ★ 企業年金の平均ポートフォリオ



(出所)各社有価証券報告書よりAllianzGI作成

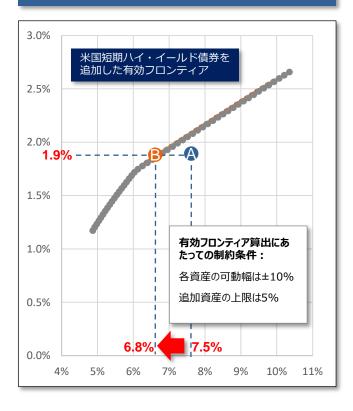
注)上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するものでなく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合があります。



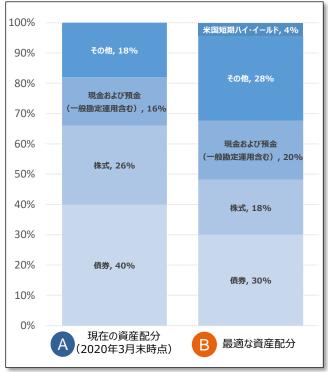
## 米国短期ハイ・イールド債券を追加することによる改善

- □ リターン水準を1.9%に設定した場合、取るべきリスク水準を7.5%から6.8%と、10%程度削減できる可能性
- □ 下方リスクも-14.0%から-12.8%と、8.5%削減できる可能性

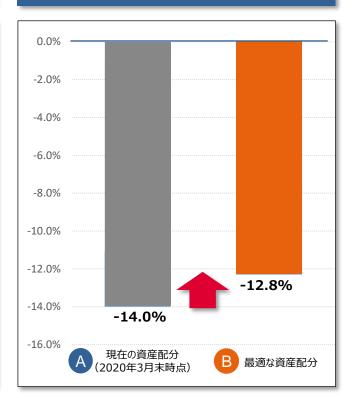
#### 有効フロンティア



#### 資産配分



#### 下方リスク (CVaR 95%)



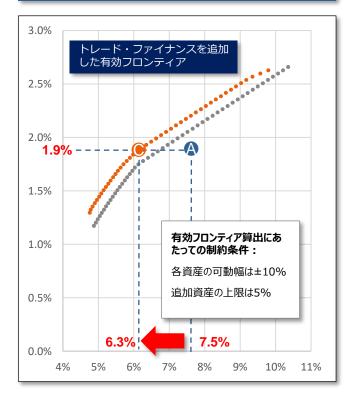
注)上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するものでなく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合があります。



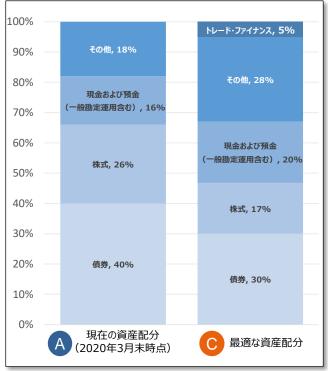
### トレード・ファイナンスを追加することによる改善

- リターン水準を1.9%に設定した場合、取るべきリスク量を7.5%から6.3%と、16%程度削減できる可能性
- □ 下方リスクも-14.0%から-11.6%と、17.1%削減できる可能性

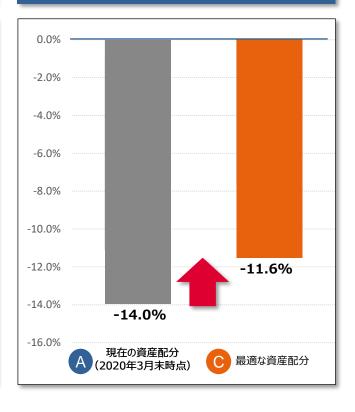
#### 有効フロンティア



#### 資産配分



#### 下方リスク (CVaR 95%)



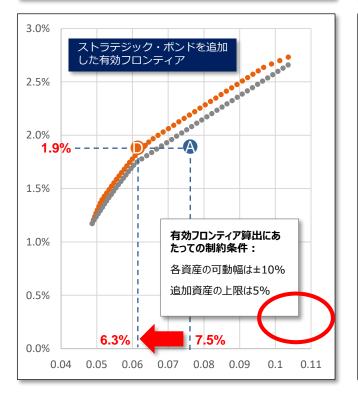
注)上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するものでなく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合があります。



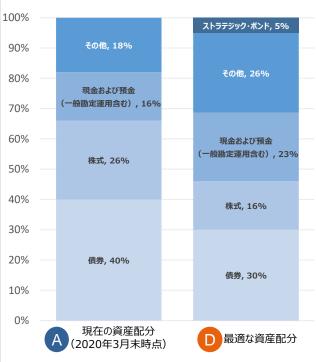
# ストラテジック・ボンドを追加することによる改善

- リターン水準を1.9%に設定した場合、取るべきリスク量を7.5%から6.3%と、16%程度削減できる可能性
- □ 下方リスクも-14.0%から-11.6%と、15.0%削減できる可能性

#### 有効フロンティア



#### 資産配分



#### 下方リスク (CVaR 95%)

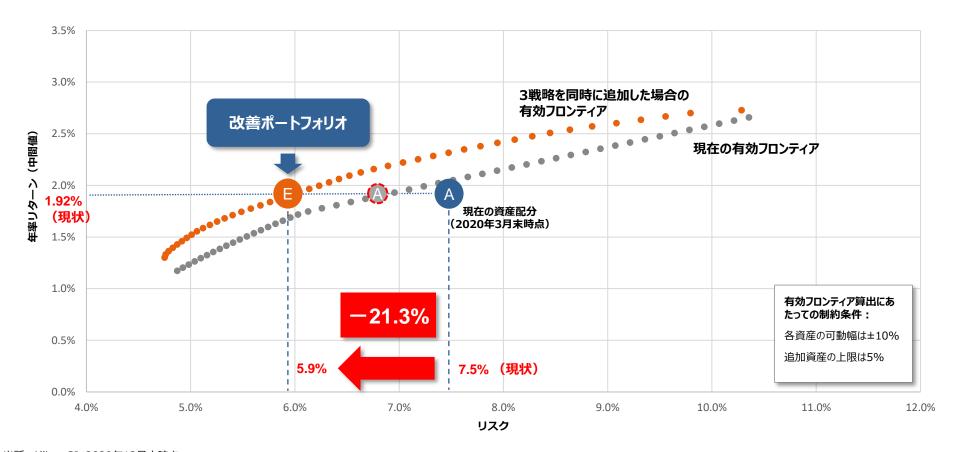


注)上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するものでなく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合が あります。



## 3戦略を同時に追加することによる改善

■ 現在の資産配分に3資産・戦略を追加した場合、現在のリターン水準を変えずに、リスク水準を7.5%から5.9%と、21.3%削減できる可能性



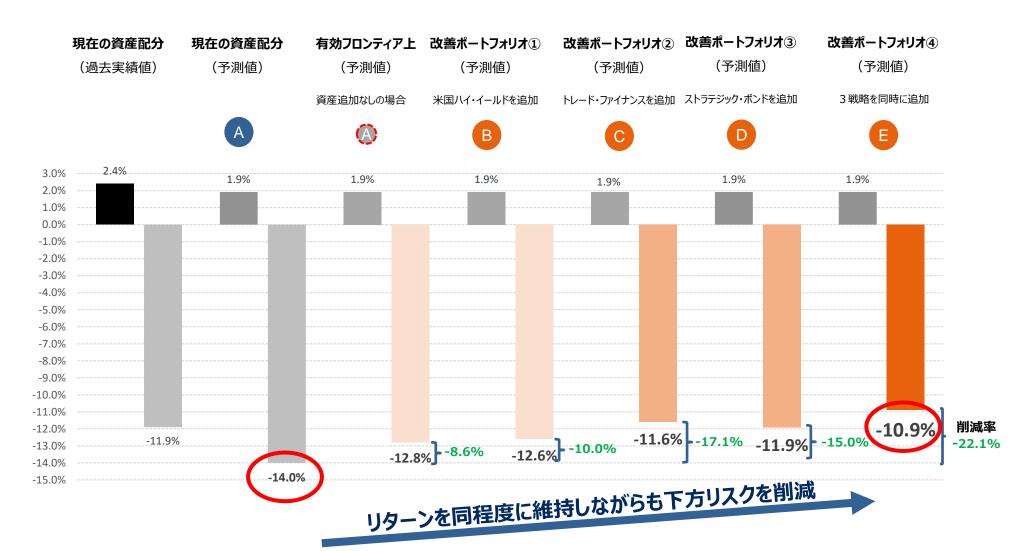
出所: AllianzGI、2020年12月末時点

制約条件:各資産クラスのウェイト可能な範囲は、企業年金基金において各資産クラスへの配分ウェイトをベースに: 30.0%<債券<50.0%、16.0%<株式<36.0%、6.0%<現金および預金(一般勘定運用 含む)<26.0%、8.0%<その他<28.0%、0.0%<ストラテジック・ボンド<5.0%、0.0%<米国短期ハイ・イールド<5.0%、0.0%<トレード・ファイナンス<5.0%

注)上記のシミュレーションは一定条件のもとに計測された想定パフォーマンスであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するもので なく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合があります。



## 改善効果のまとめ(下方リスク削減効果)



出所: AllianzGI、2020年12月末時点

注)上記のシミュレーションは一定条件のもとに計測された想定パフォーマンスであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するものでなく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合があります。



# 

# ケース・スタディ(2)地方銀行

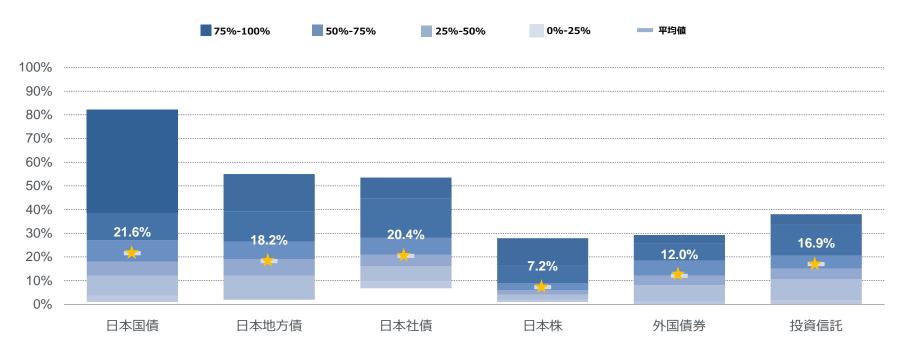




## 地方銀行の平均ポートフォリオ

- □ 大ききな偏りなく、各資産に配分
- □ ただし、債券資産への配分比率が約75%あり、企業年金の平均的ポートフォリオの約40%と比較すると倍に近い水準

#### ★ 地方銀行の平均ポートフォリオ



(出所)全国銀行協会、各行有価証券報告書よりAllianzGI作成、2020年3月末時点。

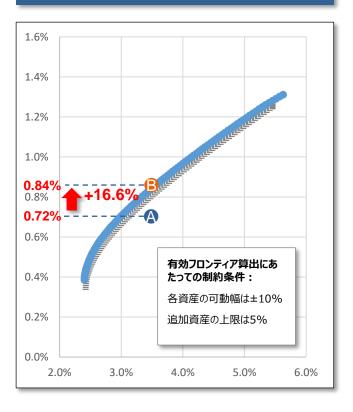
注)上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するものでなく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合があります。



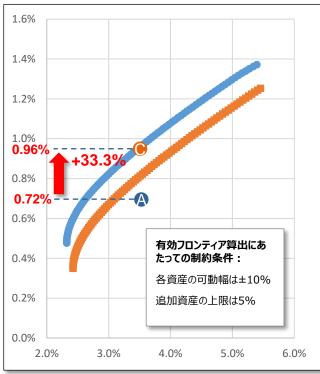
## 資産・運用戦略を追加することによる改善

- いずれの資産・運用戦略とも、有効フロンティアは上方にシフトし、同じリスク水準においてより高いリターン水準を実現できる可能性
- □ それぞれの改善効果は16.6%、33.3%、34.7%

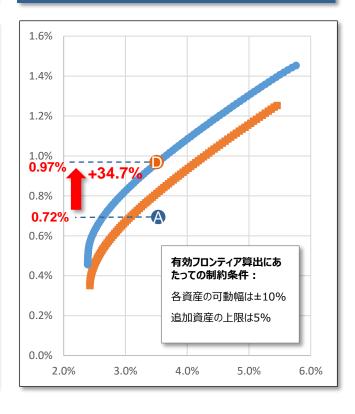
#### 米国短期ハイ・イールドを追加した場合



#### トレード・ファイナンスを追加した場合



#### ストラテジック・ボンドを追加した場合

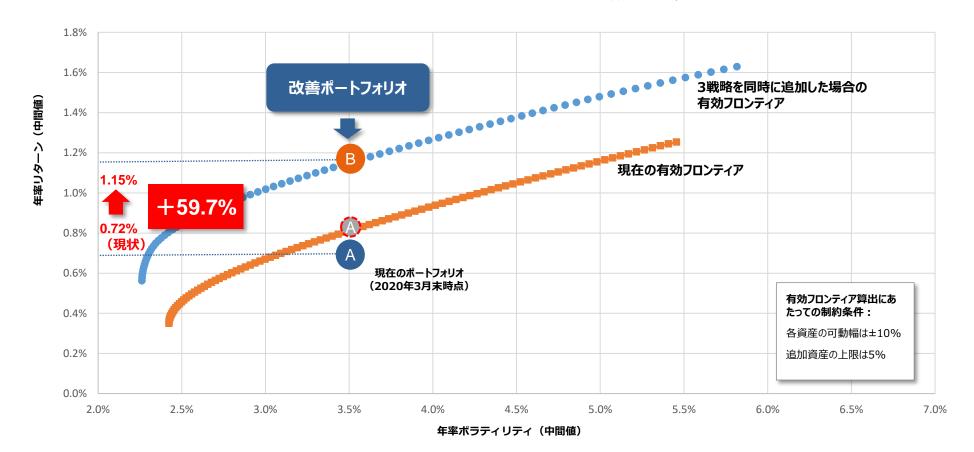


注)上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するものでなく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合が あります。



## 3つの資産・戦略を同時に追加することによる改善

- □ リスク水準を3.5%に固定した場合、リターン水準は現状の0.72%から1.15%と約6割改善する可能性
- □ 前頁の各資産を一つずつ追加した場合と比較すると、3資産・戦略の同時追加による改善効果は大幅に上昇する可能性



出所: AllianzGI、2020年12月末時点

制約条件:各資産クラスのウェイト可能な範囲は、地域金融機関において各資産クラスへの配分ウェイトをベースに、: 10.3% <日本国債 <30.3%、10.0% <日本地方債 <30.0%、13.0% <日本社債 <33.0%、0.0% <日本株式 <17.4%、3.8% <外国債券 <23.8%、5.5% <投資信託 <25.5%、0.0% <ストラテジック・ボンド <5.0%、0.0% <米国短期ハイ・イールド <5.0%、0.0% <トレード・ファイナンス <5.0%

注)上記のシミュレーションは一定条件のもとに計測された想定パフォーマンスであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するものでなく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合があります。



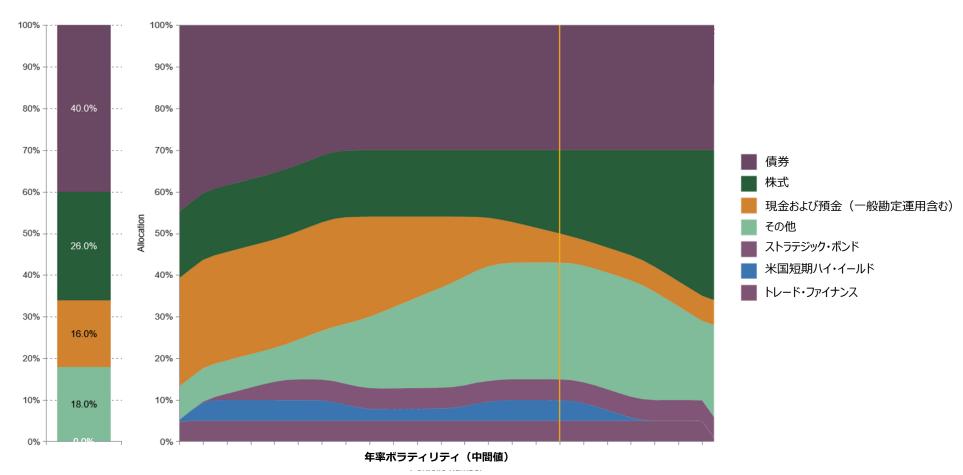
# 07

# まとめ (多角的視点での分析)





## 可視化されたリスク量に応じた資産配分提案例



出所: AllianzGI、2020年12月末時点

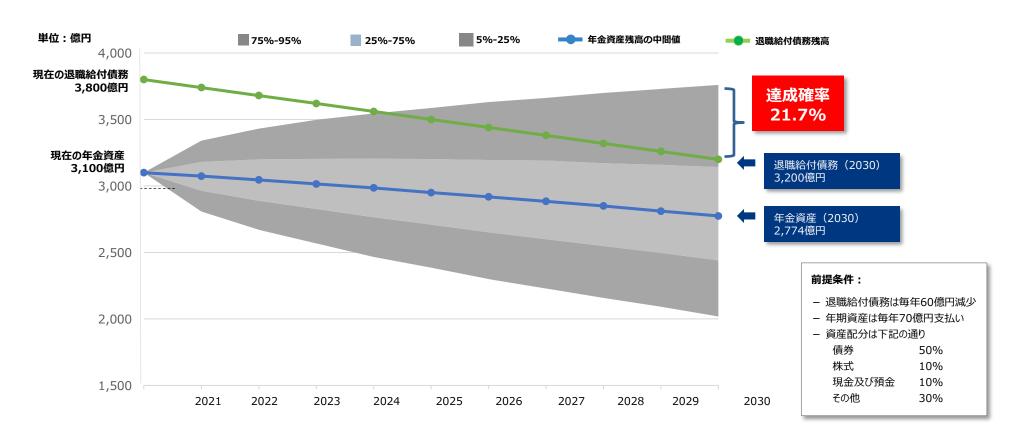
注)上記のシミュレーションは一定条件のもとに計測された想定パフォーマンスであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するものでなく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合があります。

制約条件:各資産クラスのウェイト可能な範囲は、企業年金基金において各資産クラスへの配分ウェイトをベースに: 30.0%<債券<50.0%、16.0%<株式<36.0%、6.0%<現金および預金(一般勘定運用 含む)<26.0%、8.0%<その他<28.0%、0.0%<ストラテジック・ボンド<5.0%、0.0%<米国短期ハイ・イールド<5.0%、0.0%<トレード・ファイナンス<5.0%



## 可視化された企業年金の退職給付債務と年金資産の予測推移・達成確立

- □ 下図は仮想企業年金の退職給付債務と年金資産の今後の推移を示したもの
- □ 2030年の退職給付債務は3,200億円、年金資産の中間値は2,774億円
- □ 2030年における、年金資産が退職給付債務上回る達成確率は21.7%と予測



注)上記の図表は情報提供を目的としたもので、投資助言に相当するものでなく、かつ特定の有価証券、運用戦略、運用商品を推奨または提案するものではありません。また上記内容は通知なしに変更される場合があります。



#### アリアンツGIは・・・

- □ 中期ではなく、長期の今後10年間の
- □ 包括的・体系的な予測システムを有し、
- □ 四半期ごとに更新

- □ 世界最大級の保険会社の運用に基づき、
- □ <u>流動性資産</u>の運用戦略だけでなく、
- □ <u>非流動性資産</u>の運用戦略も提供可能





# 今後10年の長期予測

に基づく

最適な資産配分

をご提案

新しい資産・戦略を追加すること

による これから の投資効果を

定量的に分析 かつ可視化 会計・税務・法務を加味した

投資スキーム

を含めた具体的な

投資ソリューションを設計

してご提供



## 【ご留意事項】

- 本資料は、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・グループ会社\*(以下、当社)が作成したものです。
- 特定の金融商品等の推奨や勧誘を行うものではありません。
- 内容には正確を期していますが、当社が必ずしもその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当社はAllianz SE傘下のグループ会社です。
- 本資料に記載されている運用戦略の一部は、実際にお客様にご提供するにあたり相当程度の時間を要する場合があります。
- 本資料に記載されている個別の有価証券、銘柄、企業名等については、あくまでも参考として申し述べたものであり特定の金融商品等の売買を推奨するものではありません。
- 過去の運用実績やシミュレーション結果は、将来の運用成果等を保証するものではありません。
- 本資料には将来の見通し等に関する記述が含まれている場合がありますが、それらは資料作成時における資料作成会社の見解であり、将来の動向や運用成果等を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている内容は既に変更されている場合があり、また、予告なく変更される場合があります。
- 最終的な投資の意思決定は、商品説明資料等をよくお読みの上、お客様ご自身の判断と責任において行ってください。
- 当社が提案する戦略および運用スキームは、グループ会社全体の運用機能を統合したものであるため、お客様の意向その他のお客様の情報をグループ会社と共有する場合があります。
- 本資料の一部または全部について、当社の事前の承諾なく、使用、複製、転用、配布及び第三者に開示する等の行為はご遠慮ください。
  - \* ここでは、以下のグループ会社を総称しています。
    - •Allianz Global Investors Japan Co., Ltd.
    - Allianz Global Investors U.S. LLC
    - Allianz Global Investors GmbH
    - •Allianz Global Investors Asia Pacific Ltd.
    - •Allianz Global Investors Singapore Ltd.
    - Allianz Capital Partners GmbH
    - Allianz Global Investors Taiwan Limited



#### 投資顧問契約および投資一任契約のお客様は以下をお読みください。

#### 対価とリスクについて

#### 1. 対価の概要について

当社の提供する投資顧問契約および投資一任契約に係るサービスに対する年間報酬は、最終的にお客様との個別協議に基づき決定いたします。これらの報酬につきましては、契約締結前交付書面等でご確認ください。投資一任契約に係る報酬以外に有価証券等の売買委託手数料、信託事務の諸費用、投資対象資産が外国で保管される場合はその費用、その他の投資一任契約に伴う投資の実行・ポートフォリオの維持のため発生する費用はお客様の負担となりますが、これらはお客様が資産の保管をご契約されている機関(信託銀行等)を通じてご負担頂くことになり、当社にお支払い頂くものではありません。これらの報酬その他の対価の合計額については、お客様が資産の保管をご契約されている機関(信託銀行等)が決定するものであるため、また、契約資産額・保有期間・運用状況等により異なりますので、表示することはできません。

#### 2. リスクの概要について

投資顧問契約に基づき助言する資産又は投資ー任契約に基づき投資を行う資産の種類は、お客様と協議の上決定させて頂きますが、対象とする金融商品及び金融派生商品(デリバティブ取引等)は、様々な指標等の変動の影響を受けます。従って、投資顧問契約又は投資一任契約の対象とさせて頂くお客様の資産において、元本欠損を生じるおそれがあります。ご契約の際は、事前に必ず契約締結前交付書面等をご覧ください。

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第424号

- 一般社団法人日本投資顧問業協会に加入
- 一般計団法人投資信託協会に加入



# **Active is:**

# Allianz Global Investors